

御嵩町新庁舎等整備事業 今後の方針に関する町民説明会(質疑まとめ)

日 時:令和6年8月19日(月) 午後7時～午後8時10分

会 場:伏見公民館 3階大ホール

町民) 造成及び建物配置計画という図面の中で、保育園児童館敷地と防災広場②の間の矢印が引いてあるのは何の意味があるのでしょうか。というのは、子ども達の自由な動きがより近いところのできるとの目的であれば、間の道路が気になります。平面的には変えられそうなので、くっつけるべきではないかと思います。

町) 資料15ページの図中の黒い矢印については、児童館や保育園で遊ぶ子ども達の移動の動線を示しています。それぞれの施設の前に防災広場を整備することにより、より安全な管理体制、監視体制が図れるものと考えています。一方、ご指摘頂いたとおり、子ども達は道路を渡り行き来する動線となります。当然ながら、安全に道路を渡れるよう横断歩道を整備しますが、より安全な場所・位置で横断できるよう検討してまいります。

町民) 亜炭鉱工事はどこの予算に計上されているのか。

町) 資料7ページに事業費の内訳を載せていますが、この表中の造成工事の区分に亜炭鉱対策費、いわゆる空洞の充填工事費を計上しています。

町民) 造成工事費19.7億円のうち、いくらが亜炭鉱対策費か。

町) 約4.6億円を見込んでいます。

町民) 亜炭鉱対策費ですが、国道21号線で実施している工事はどこの費用でやっているのか。新庁舎計画地については補助いただけることは無いのか。

町) 国道21号線の亜炭鉱工事については、道路管理者である国土交通省が行っています。新庁舎計画地については補助がなく、自力で対策することになります。

町民) 駐車場兼調整池について、スーパーの駐車場などにも調整池があり、大雨が降ると水が溜まるというふうによく書いてありますが、この調整池はどのような構造なのか。それからすぐ横に川がありますが、川の流れを利用すれば水面より低くても水は吸い出されるということがある。実際にそのような施設を作ったことがあり、そのような方法もありますので一度検討してみてください。

町) はじめに調整池の構造についてご説明します。仰られるとおりイメージとしてはスーパーやパチンコ店、大型電気店に整備されている駐車場のようなものです。大雨が降ると10~20センチほど水が溜まるといったオープン型の調整池を整備する予定です。排水方法については、自然流下方式による排水を予定しています。なお可児川の水位(ハイウォーターレベル)より高い位置に放流口を設置する必要があり、開発基準に従い整備を進めてまいります。

町民) 計画地部分については分かるが、そこに接続するバイパスはそれなりの高さがあるとして、駅の方から繋がる道路や下流側の道路など、災害時でも複数の道路が確保されているという説明が無いのが不安である。

町) 計画地前面の21号バイパスは国の緊急輸送道路に指定されています。周囲より高い位置の道路であり1000年に一度の大雨でも浸水しないものと考えています。計画地はこの21号バイパスと同じ高さまで盛土するため、安全性を確保しています。一方、近隣の農地や道路については21号バイパスよりも低い位置であるため、浸水する可能性はあるやもしれません。なお調査報告書では、この地域一帯での長期浸水の可能性は低いという見解が示されており、時間経過とともに水は引いていくものと判断しています。

町) 道路の観点から補足させていただきます。21号バイパスについては国の第1次緊急輸送道路であり大丈夫であろうと、ただしそれ以外の道路については高低差がありますので、ご心配されている特に豪雨等においては一部通行が困難になる可能性はあろうかと思えます。全ての道路をバイパスの高さに合わせるといった整備はできないため、こうした災害時が発生した際には緊急輸送道路である21号バイパスを活用して移動するということになろうかと思えます。

町民) 盛土代6億円を見込んでいますが、私の聞き及んでいる範囲では新丸山ダム建設の残土を持ってくると聞いている。もともと国の発生土を御嵩町へ持ってくる

ことは、私が国の立場なら渡りに船である。盛土に6億円もの予算を計上しているが、私に言わせると6億円が仮に削減された暁には、その6億円が流用される恐れがあるのではと危惧している。この6億円というのは予算計上される折に、おそらく国と折衝されたと思う。そうであれば、その実態を数字として表すべきであり最大で6億円を計上するのはいかがと思う。

町) 仰られるとおり、盛土についてはもともと新丸山ダム工事の建設発生土を活用する計画で進めておりましたが、新庁舎事業が停滞したことによりこの土を頂ける見込みが無くなっているのは事実であります。今後事業を進めて行く上で、一旦は盛土代6億円を計上させていただきましたが、国や県など他の公共工事で発生する建設発生土を何とか無償もしくは安価に確保できるように取り組んでまいります。ご理解をいただきますようお願いいたします。

町民) 今の回答では私は納得できない。残土を発生させる側としては、どんなことをしても土を処分しなければならない訳であり、安価に確保するというような生やさしいことではなく、むしろ有償で引き受けますという気構えがなければいけない。そのような考えが無いと予算削減はできないのではないかと思う。

町) 現在、新丸山ダム工事は進んでおりますが、地質によっては使える土と使えない土が出てきます。基準値を超えるような土が今後出てくる可能性があることを伺っており、そのような土は対策なしに使うことはできません。新庁舎造成用の土には適さない可能性もあり、他も含め確保してまいりたいと考えています。

町民) 保健センターを併設すると当然金額は上がると思う。大体の概算で金額を把握していますか。

町) 資料12ページに現在の保健センターの平面図を載せていますが、延床面積は約600平方メートルとなっています。今後、新庁舎建物内に600平方メートルの床面積を確保しようとする場合、概算ですが約3億円の建築費が増えるの見込んでいます。ただし、今後RC造やS造への構造の見直しにより空間が確保できる可能性もあります。保健センターの移設については引き続き利用者の意見も踏まえ、検討してまいりたいと考えています。

町民) 事業費について、物価高騰1.3%を考慮した場合は76.5億円とされている。当初の78億円と金額はあまり変わらないようであるが。

町) 資料の7ページに明記していますが、物価高騰を考慮した場合の総事業費は約76.5億円と試算しています。ただし、この物価高騰も今後どうなるのか分からないため、現在把握している1.3倍という数値をもって試算しています。当初の78億円の場合、同じく1.3倍すると100億円を超えるような試算となります。今後こうした物価高騰の変動も注視し検討していく必要があると考えます。

町民) 住民の負担はどうなりますか。人口が増えているわけでもないですし。

町) 資料9ページでも示しておりますとおり、将来的な財政健全指数を見ながら進めてまいります。これらの指標から見るとご心配されるような税金の増額、住民の負担ということが起こるということはありません。

町民) こういった形で新庁舎事業が一步進んできたということについては、議員の皆様等に対して感謝します。結果的に私が思ったのは、やはり金額が大きいということだと思います。御嵩町はどこで作っても垂炭釜があり、どこに作っても金額はかかるものであり、他の市町村に比べたら少し金額が高くなるだろうと、この78億円がとても高いのか、ある程度高いのかよく分からないが、当初から想定された事かなと思っています。今後地域住民の方、職員の人数も減ってきますので、この庁舎等も含めいわゆるコンパクトな庁舎、機能を集約化する、そういった点で金額を減らすような形でやっていっていただきたいなと思っています。また将来、車の自動運転などを鑑みても、いわゆるバイパスに面してすっきりした場所になるかなと思っています。それと名鉄広見線のアピールにもなるのかなと思っています。また防災広場をはじめきっちりとした建物が必要であり周辺市町村に対しても、いわゆる災害に強い庁舎を作るというようなアピールをしても良いと思っています。最後に、御嵩町には道の駅がないのでこの新庁舎を道の駅みたいな考え方で持っても良いのではないかなと思います。

町) ご意見ありがとうございます。